f	令和5年度第2回横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録						
日		時	令和6年3月22日(金) 午後5時00分から7時00分まで				
開	催場	所	緑区役所4階4AB会議室				
	席	者	【選定委員会委員】				
出			委員長 村井 祐一 (田園調布学園大学教授)				
			委員 太田 さおり (緑区地域子育て支援拠点「いっぽ」職員)				
			原田 ますみ (緑区保健活動推進員会会長)				
			藤田 慶之 (税理士)				
			正木 きよ子 (緑区民生委員児童委員協議会副会長)				
			蕨 圭二 (みどり地域活動ホーム あおぞら 施設長)				
			菅沼 繁晴 (山下地域ケアプラザ運営協議会会長)				
			【事務局】				
			緑区福祉保健センター長 宮嶋 真理子				
			緑区福祉保健センター担当部長 安達 恒介				
			緑区福祉保健課長 柴山 一彦				
			緑区福祉保健課事業企画担当係長 橋本 恵美子				
			緑区福祉保健課事業企画担当河原龍也、上村香仲美				
欠	席	者	無し				
開	催形	態	一部非公開(面接審査及び審議以降は非公開と決定済み)(傍聴者0人)				
		題	1 応募状況・審査方法について				
			2 最低基準点について				
議			3 事業実績評価について				
			4 財務評価について				
			5 面接審査				
			6 審議				
		事項	指定管理者の候補者(以下「指定候補者」という。)及び指定候補者を指定管理者と				
決	定事		して指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者(以下「次点候				
			補者」という。)として、次のとおり、横浜市緑区長に報告することとする。				
			1 横浜市山下地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者				
			指定候補者:社会福祉法人ふじ寿か会				
		事	次点候補者:無し				
			1 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査				
			(1) 事前確認事項				
議			事務局から、公募の結果1団体から応募書類の提出があった旨を報告すると				
			ともに、次の3点について確認した。				
			○委員会の公開・非公開				
			面接審査及び審議以降は非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済				

み)

- ○面接審査の進め方及び質問項目の確認 (事務局)
- ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。
- ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。
- ○応募団体の資格要件等について

(事務局)

- ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、 神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況 等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。
- ・欠格事由に該当しないことを報告。
- (2) 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査
 - ア 横浜市山下地域ケアプラザ
 - (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明
 - (イ) 主な質疑応答
 - (委員)「ささえあいバス」とはどのような事業なのか。
 - (団体)事業自体は連合自治会が実施している。地域ケアプラザが停留所の ひとつになっている。地域ケアプラザの事業への参加者や団体利用 者に利用いただけないか話をしている。
 - (委員)「ささえあいバス」で来館できる事について、地域ケアプラザに来た ことが無い方への周知方法はどのようにしているのか。
 - (団体) 地域ケアプラザの館内・館外と地域の掲示板で周知している。「ささ えあいバス」については、地域ケアプラザが主体ではないため、連 合自治会と相談をして様々な場所で周知している。
 - (委員) 障害分野において、色々と障害関連のイベントも行っているようだが、今後の展望を聞かせてほしい。
 - (団体) 障害関係の事業について、近くの事業所の方が地域ケアプラザ付近を散歩していた時に話したことがきっかけで、施設について紹介し、ボッチャやお祭りに参加していただいた。また、障害者週間に館内で事業所の内容を紹介している。今後も一緒に事業活動をしていきたいと考えている。
 - (委員) 地区の強みと課題をどのように考えているか。
 - (団体) 地区の強みとしては、自治会や関連の団体が「自分達でやらなけれ

ばならない」という思いが強い。そういう思いに引っ張られて、自 分達も事業展開が出来ている。

課題としては、山坂の移動など地理的な部分が挙げられる。「ささえ あいバス」等の交通手段を有効活用することが必要。

- (委員) 地域ケアプラザにしか出来ない役割はどのようなものがあるか。
- (団体) 山下地区を担当する職員が約20年在籍しており、地区のことをよく知っている。人間関係も含めて、地域活動に携われているのが強みであると考えている。また山坂が多い中で、山の反対側にも行けるよう車や自転車を利用して訪問している。相談に来てもらうことよりもこちらから出向くことの方が多い。
- (委員) これからより一層連携を強めていきたい団体等はあるか。
- (団体) 企業連携に力を入れていきたい。具体的には、パルシステムが地区 内で認知症関係の事業を行っている。場の提供も含めて、積極的に 活動している様子。山下地区の端の方に位置しているが、今後連携 をしていきたい。
- (委員) 自主事業をどのように企画しているのか。
- (団体)他の地域ケアプラザを参考にしている。併せて事業参加者にどのような事業をやってほしいか要望を聞いて参考にしている。例えば、体操教室で男性の参加者が少なかったので、どうすれば参加に繋がるか聞いたところ、「自分の体力が数値化して見えると良い。」との声があった。その意見をもとに、握力測定等定期的に数値化する事業を実施したところ、10人の定期的な参加が確保できた。
- (委員)提出いただいた事業計画を確認すると、「関係団体等との連携」について、「~していく。」「~取り組みます。」と記載があるが、既に行っているのか、それともこれからの取組予定なのか。
- (団体) 既に取組は行っている。より発展・充実していきたいと考えている。 福祉教育・学習支援など学校との連携も話に出ている。
- (委員)事業計画書については、ぜひイラストや表などを組み込んで、データやグラフ等視覚的にわかりやすいもの入れると、さらによかったと思う。
- (3) 前期実績報告書、財務状況評価の説明 事務局より前期実績報告書について説明。 藤田委員より財務分析結果報告書について説明。

2 指定管理者の候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行

- い、各委員の評価結果を集計する。
- (1) 横浜市山下地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点	最低制限基準 得点/基準点
指定候補者	社会福祉法人 ふじ寿か会	984/1,525 点	964/885 点
次点候補者	無し		

(審査講評)

【社会福祉法人 ふじ寿か会】

- ・プレゼンテーションの内容や事業計画書についてはシンプルだったが、日頃から障害分野はじめ、多くの関係団体との連携が非常に強く、様々な取組を行っていると感じている。普段やっている事業を、プレゼンテーションや事業計画書でアピールできると良かった。
- ・ささえあいバスの活用等、地域との連携を大事にしつつ、上手に活用しており、 より発展させてほしい。
- ・自主事業に関して、他の地域ケアプラザを参考にしたり、参加者からニーズ把 握をするだけではなく、山下地区の抱える地域課題や地域の強みといった客観 的な地域の実情から事業を検討することも行っていただきたい。
- ・企業連携について、今後の取組等をお伝えいただいたが、これからの地域ケア プラザにとっても、必要不可欠な要素であるため、今後も取組を進めてほしい。
- ・地理的に不便な面もあるが、積極的に外に出て相談を受けるという点が評価できる。地域ケアプラザはどうしても「相談を受ける」ということで、受け身になりがちだが、多くの人に来てもらうこと、知ってもらうことへの積極性が感じられた。
- ・長く勤めている職員がいる等、職場環境が良いと感じた。実際に職員の人当たりが良く、頑張っていただいている印象。
- ・高齢者だけでなく今後は多世代交流の視点も持って、企業連携を拡充してほし い。

指定候補者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社 会福祉法人ふじ寿か会を指定候補者として選定することを決定する。

資 料 1 **資料**

(1) 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会員名簿

特記事項

- (2) 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱
- (3) 横浜市緑区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱
- (4) 令和5年度第1回選定委員会議事録
- (5) 令和5年度第2回委員会タイムスケジュール
- (6) 最低基準点の設定について
- (7) 前期の指定管理業務の実績報告書
- (8) 事業実績評価・第三者評価結果
- (9) 財務分析結果報告書

2 特記事項

特に無し